

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	17	26	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	1	1	ヘルパンギーナ	287	195
咽頭結膜熱	30	21	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	4	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	78	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	288	291	流行性角結膜炎(はやり目)	7	8
水痘	57	82	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	592	537	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑(りんご病)	1	0	マイコプラズマ肺炎	2	3
突発性発しん	43	42	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 手足口病** 報告数:592件(前週:537件)
地区別:水俣、菊池、熊本市
年齢別:1歳 244件(41.2%)
- 感染性胃腸炎** 報告数:288件(前週:291件)
地区別:有明、菊池、宇城
年齢別:1歳 41件(14.2%)
- ヘルパンギーナ** 報告数:287件(前週:195件)
地区別:菊池、宇城、八代
年齢別:1歳 87件(30.3%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	3		9	24	74	14	255	1	18		71			7		1	2	
山鹿保健所	1		1		14	2	17		2		2		*	*				
菊池保健所	1	1	4	18	54	20	112		9		67							
阿蘇保健所				1	2		2					1	*	*				
御船保健所	3				2	1	2				4	1	*	*				
八代保健所	4		1	1	14	3	12		1		38							
水俣保健所					8		45		4		5		*	*				
人吉保健所				1	17	1	38		1		9		*	*				
有明保健所			7	2	64		29		5		21							
宇城保健所	5		4	6	30	14	46		1		44		*	*				
天草保健所			4	2	9	2	34		2		26	2						
計	17	1	30	55	288	57	592	1	43	0	287	4	0	7	0	1	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
インフルエンザ	17							2					1	1	7	6					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	1		1																		
咽頭結膜熱	30		4	8	7	5	3	2						1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55				1	7	7	14	3	5	5	5	5	5	3						
感染性胃腸炎	288	2	26	41	26	33	29	21	12	19	9	8	40	10	12						
水痘	57		2	23	6	6	12	5	1	1	1										
手足口病	592	4	100	244	118	56	35	17	6	6	3		2		1						
伝染性紅斑	1		1																		
突発性発しん	43	2	17	20	3		1														
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	287	4	37	87	64	37	24	13	9	6	3	2			1						
流行性耳下腺炎	4					1	1					1	1								
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	7					1							1	1	2			1			1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1			1																	
マイコプラズマ肺炎	2			1	1																
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ: 菊池、八代、宇城、天草
- 手足口病: 熊本市、山鹿、菊池、水俣、人吉、有明、宇城、天草

腸管出血性大腸菌感染症(0157)に注意しましょう

【腸管出血性大腸菌感染症(0157)に注意しましょう】

今週は、腸管出血性大腸菌感染症(0157)の報告が8件ありました。腸管出血性大腸菌感染症は、例年、夏場に多く報告される病気です。

【特徴】

①発症菌数が非常に少ない。→0157の場合はわずか数百個程度の非常に少ない菌数で発症します。

②潜伏期間が3から5日と長い。→通常の食中毒菌(サルモネラや腸炎ビブリオ)の潜伏期間は8~2時間です。

③感染力が強く人から人へ二次感染をおこす。→通常の食中毒菌は人から人へ感染することはありません。

④熱や市販の消毒剤に弱い。→75℃・1分間の加熱や逆性石けんやアルコールなどの市販の消毒剤でも容易に死滅します。

【症状】

下痢、腹痛、血便、発熱などがみられます。

特に血便がみられた場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。

【主な感染経路】

- 経口感染(菌に染された食品、水などを飲食することによって起こります)
- 糞口感染(菌で汚れた手などを介して口に入ることによって起こります)
- 動物と接触することによって感染する場合もある

【予防】

- 食品は十分に加熱しましょう。
- 生の食材を扱った調理器具と、加熱後の食品は必ず別の調理器具で扱うなどの注意をしましょう。
- 調理や食事の前には、必ず手を洗いましょう。逆性石けんの使用が有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課